

2022年4月22日09:30（日本時間）／00:30（協定世界時）まで公開禁止

# au じぶん銀行日本複合 PMI 速報値®

及び、au じぶん銀行 日本製造業・サービス業 PMI®速報値

## 民間企業の生産高、過去4か月間で最大の増加率

### 主な動向

4月の複合生産高指数速報値：50.9

(3月の確定値：50.3)

4月のサービス業事業活動指数速報値：50.5

(3月の確定値：49.4)

4月の製造業生産高指数速報値：51.7

(3月の確定値：52.2)

本日、au じぶん銀行日本複合 PMI® の最新速報値が発表された。毎月、PMI 確定値発表の約 1 週間前に発表される速報値は、日本の民間セクターの業況を示す最速の先行指標である。速報値は通常、各月の PMI 調査回答全体の約 85~90%をもとに算出され、PMI 確定値を的確に指示することをねらいとしている。

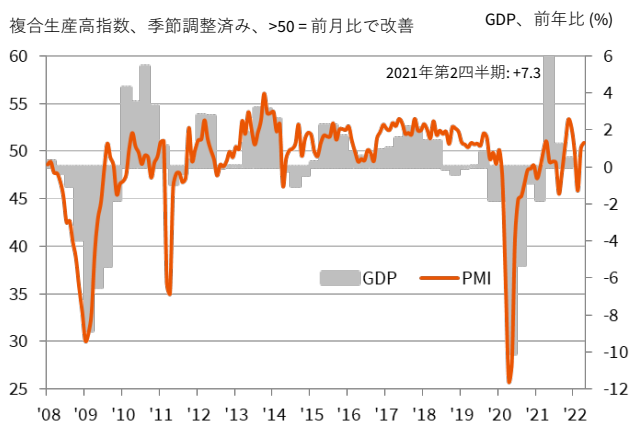
S&P グローバル・インクエコノミスト、Usamah Bhatti による最新調査結果についてのコメント

「最新の PMI データ速報値によると、2022 年第 2 四半期に入り、は、日本の民間企業の業況がより急速なペースで改善したことを示した。サービス業は昨年 12 月以来となる事業活動の拡大を記録。製造業でも 2 か月連続で生産高が増加した。4 月のデータは 4 か月ぶりの急速拡大を示したが、増加率は若干だった。また、民間企業の新規受注数は、事業環境がより厳しくなる中、伸び悩んだ

インフレ圧力は続いており、製造業で特に著しい。また、サービス業では購買コストのインフレ率が加速し、2008 年 8 月以来の最高値を記録。したがって、複合購買コストが 3 か月連続上昇した。企業らが高騰する価格の一部を顧客に転嫁したことを受けて、販売価格は 8 年ぶりの増加率となった。

ウクライナ紛争の影響や、中国の厳格なロックダウンなどの措置がサプライチェーンやコスト、需要に及ぼす影響がより懸念され、企業の見通しは過去 8 か月間の最低値へと低下。特に製造業の景況感は、2020 年 6 月以来の最低値となった。」

### au じぶん銀行 日本複合生産高指数



出典：au じぶん銀行、S&P グローバル・インク、内閣府

### インデックスのサマリー

指数	セクター	解釈
生産高	複合	増加。以前より大幅
	製造業	増加。以前より小幅
	サービス業	減少から増加へ
新規事業	複合	増加から変化なし
	製造業	増加。以前より小幅
	サービス業	増加から減少へ
新規輸出事業	複合	減少。以前より小幅
	製造業	減少。以前より小幅
	サービス業	減少から増加へ
雇用	複合	増加。以前より大幅
	製造業	増加。以前より小幅
	サービス業	増加。以前より大幅
受注残	複合	増加から減少へ
	製造業	増加。以前より小幅
	サービス業	増加から減少へ
製品価格	複合	値上がり。以前より大幅
	製造業	値上がり。以前より大幅
	サービス業	値上がり。以前より小幅
購買コスト	複合	値上がり。以前より大幅
	製造業	値上がり率に変化なし
	サービス業	値上がり。以前より大幅
生産高予想	複合	楽観的な見通し。以前より小幅
	製造業	楽観的な見通し。以前より小幅
	サービス業	楽観的な見通し。以前より大幅
購買品在庫	製造業	増加。以前より小幅
完成品在庫	製造業	減少から増加へ
購買数量	製造業	増加。以前より大幅
サプライヤー納期	製造業	長期化。以前より小幅

## auじぶん銀行 日本製造業 PMI®速報値

auじぶん銀行日本製造業 PMI®は、S&P グローバル・インクが製造業約 400 社の購買担当者に毎月調査を行い、その回答をもとにまとめている。主要指数の購買担当者指数 (PMI) は製造業の業況を単一の数値で表す複合指標で、次の 5 つのサブインデックスの加重平均である：新規受注 (30%)、生産高 (25%)、雇用 (20%)、サプライヤー納期 (15%)、購買品在庫 (10%)。ただしサプライヤー納期指数は、結果として得られる数値が他の指数と比較可能になるように算出したものである。

4 月の主要指数の auじぶん銀行日本製造業購買担当者指数™ (PMI) ® (製造業の全体的業況を表す指標) は 3 月の 54.1 から 53.4 に若干低下し、業況の改善が鈍化したことを示した。製造業の生産高は過去 7 か月間で 6 度目となる増加を記録。新規受注数の増加は 7 か月連続に及ぶが、その増加率は緩やかだった。また、受注残が緩やかに増加する中、雇用者数の増加率は過去 9 か月間で最低水準に低下した。しかし、購買品不足は依然続き、コストがさらに急速なペースで増加したため、事業の見通しは 2020 年 6 月以来の最低値に低下した。

## auじぶん銀行 日本サービス業 PMI®速報値

auじぶん銀行日本サービス業 PMI®は、S&P グローバル・インクがサービス業約 400 社からの調査回答をもとにまとめている。対象セクターには消費者サービス (小売以外)、運輸、情報通信、金融、保険、不動産、ビジネスサービスが含まれる。主要指数のサービス業事業活動指数は事業活動量の前月比での変化を示す。数値が 50 を超えれば全体として前月比で増加したことを、50 を割り込めば減少したことを意味する。

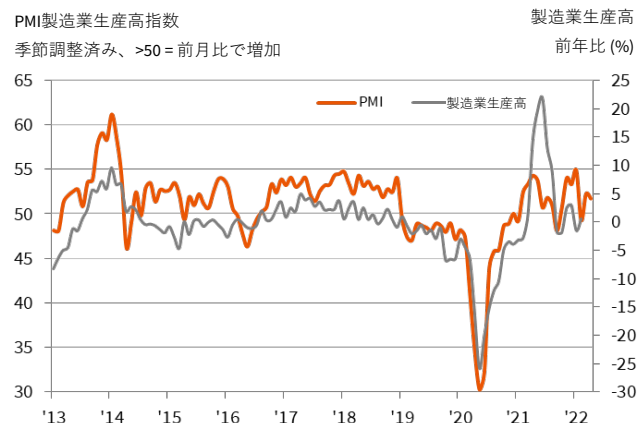
4 月の auじぶん銀行日本サービス業活動指数の速報値は 3 月の 49.4 から 50.5 に上昇し、事業活動が昨年 12 月以来の増加したことを示した。しかし、新規事業は国内の需要低迷を受けて過去 4 か月間で 3 度目となる減少を記録。一方、新規輸出受注は 2019 年 10 月以来の急激なペースで、4 か月ぶりに増加した。サービス業は、購買価格の増加幅が 2008 年 8 月以来最大になるなど、価格上昇が加速したとコメントした。しかし、企業らが需要維持のためにコスト上昇圧力を吸収しようとしたため、サービス単価のインフレ率は全体的に停滞した。

## auじぶん銀行日本複合生産高 PMI®



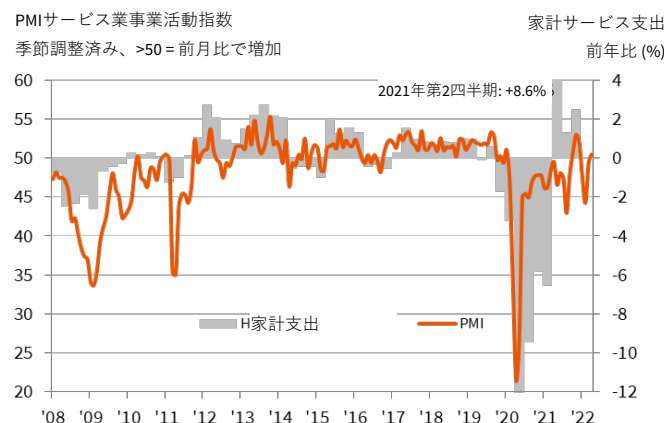
出典：auじぶん銀行、S&P グローバル・インク

## 製造業生産高



出典：auじぶん銀行、S&P グローバル・インク、経産省

## サービス業事業活動



出典：auじぶん銀行、S&P グローバル・インク、内閣府

## お問い合わせはこちらへどうぞ

au じぶん銀行

[Grp-S-I-Room@jibunbank.co.jp](mailto:Grp-S-I-Room@jibunbank.co.jp)

Usamah Bhatti

エコノミスト

S&amp;Pグローバル・インク

電話：+44 1491 461010

[usamah.bhatti@spglobal.com](mailto:usamah.bhatti@spglobal.com)

Joanna Vickers

パブリックリレーションズ

S&amp;Pグローバル・インク

電話：+44 207 260 2234

[joanna.vickers@spglobal.com](mailto:joanna.vickers@spglobal.com)

## 調査方法

auじぶん銀行日本複合PMI®はS&Pグローバル・インクがサービス業約400社、製造業約400社からの調査回答をもとにまとめています。サービス業の対象セクターには消費者サービス（小売以外）、運輸、情報通信、金融、保険、不動産、ビジネスサービスが含まれます。調査対象企業は、GDPへの貢献度に従い産業セクターおよび従業員数別に階層化されています。

調査回答は前月比での変化を示すもので、各月の後半に収集されます。これにもとづき、サブインデックスごとの拡散指数（ディフュージョン・インデックス）を算出します。各指数は「増加/上昇」と回答した企業の比率と、「同じ」と回答した企業の比率の半分の合計です。数値は0~100の間で変動し、50を超えれば全体として前月比で増加したことを、50を割り込めば減少したことを意味します。そのうえで指数に季節調整が加えられます。

複合指数は、製造業とサービス業それぞれの比較可能な指数の加重平均です。加重値は、GDP公式データに従った製造業とサービス業の相対的規模を反映したのものとなっています。

主要指数の複合生産高指数は、製造業生産高指数とサービス業事業活動指数の加重平均です。複合生産高指数は「複合PMI」と表現されることもありますが、製造業の主要指数のPMIと同列のものではありません。

主要指数はサービス業事業活動指数です。これは、事業活動量の前月比での変化についての回答から算出する拡散指数（ディフュージョン・インデックス）です。サービス業事業活動指数は製造業の生産高指数に匹敵します。「サービス業PMI」と表現されることもありますが、製造業の主要指数のPMIと同列のものではありません。

製造業の主要指数は購買担当者指数（PMI）です。これは製造業の業況を単一の数値で表す複合指標で、次の5つのサブインデックスの加重平均です：新規受注（30%）、生産高（25%）、雇用（20%）、サプライヤー納期（15%）、購買品在庫（10%）。ただしサプライヤー納期指数は、結果として得られる数値が他の指数と比較可能になるように算出しています。

速報値は確定値発表の約1週間前に発表されます。通常は各月のPMI調査回答全体の約85~90%をもとに算出され、PMI確定値を的確に指示することをねらいとしています。

確定値の基本的調査データは発表後に修正されることはありません。ただし季節調査要因は必要に応じ修正されることがあり、その場合は季節調整済みデータに影響が及びます。

2022年4月速報値のデータ収集期間は2022年4月12~20です。

PMI調査方法の詳細は、[economics@ihsmarkit.com](mailto:economics@ihsmarkit.com)へお問い合わせください。

## auじぶん銀行日本PMIのスポンサーはauじぶん銀行株式会社です

auじぶん銀行は2008年にKDDIと三菱UFJ銀行の共同出資により設立されたネット専門銀行です。「手のひらにある銀行」として、口座・金融商品・決済などに関して、スマホユーザー視点でサービス展開をしております。キャッシュカードなしで入出金が可能な「スマホATM」、為替相場の動きを予測する「AI外貨予測」、Amazon Alexaへの対応など、ユーザーエクスペリエンスを豊かにするために様々な取り組みを行っております。

## S&amp;Pグローバル・インクについて

S&Pグローバル・インク（NYSE: SPGI）は、必要不可欠なインテリジェンスを提供します。適切なデータ、専門知識、コネクテッドテクノロジーの提供により、政府機関、企業、個人が確信を持って意思決定を行うことを可能にします。新規投資案件の評価から、サプライチェーンにおけるESGやエネルギー・トランジションまで、世界中において新たな機会を発掘し、課題を解決し、成長を加速させます。

世界の資本市場、コモデティ市場、自動車市場において、信用格付け、ベンチマーク、分析、ワークフローソリューションを提供し、グローバルのお客様の成長発展を支援します。

S&P Globalのプレスリリースを受け取りたくない場合は、[joanna.vickers@spglobal.com](mailto:joanna.vickers@spglobal.com)までお知らせください。弊社のプライバシーポリシーは[ここをクリック](#)してください。

## PMI（購買担当者指数）

購買担当者指数™（PMI®）調査は現在、40を超える国々およびユーロ圏等主要地域で実施されています。世界で最も注目される景況調査として、各国中央銀行、金融市場、企業経営者の方々より、経済動向を知るための正確でユニークな最新月間指標としてご利用いただいております。詳しくは、[ihsmarkit.com/products/pmi.html](https://ihsmarkit.com/products/pmi.html)をご覧ください。

PMI®

by S&amp;P Global

### 免責事項

ここに提供するデータの知的所有権はS&Pグローバル・インクに帰属し、もしくは使用が許諾されています。当データのいかなる部分についても複製、配布、伝達またはその他の行為を含む無許可の使用は、S&Pグローバル・インクから事前の承諾がない限り認められません。S&Pグローバル・インクとauじぶん銀行は、当レポートの内容またはそこに含まれる情報（「データ」）、データ上のいかなる間違い、不正確な記述、脱落、遅延による、またはそれに関連した責任、義務、負担のいずれをも負うものでなく、またこれにもとづきとられたいかなる行為についても責任、義務、負担のいずれをも負いません。当データの使用によって生じるいかなる特殊、偶発的もしくは間接的損害についても、S&Pグローバル・インクとauじぶん銀行は一切責任を負いかねますので予めご了承下さい。Purchasing Managers' Index™およびPMI®はMarkit Economics Limitedの登録商標、もしくはMarkit Economics Limitedに使用が許諾されたものです。S&P GlobalはS&P Global Ltd及び/又はその関連会社の登録商標です。